

## 2018年8月4日、海老名3館フェスタの報告

災ボラ会員 三宅良子

海老名災ボラのブースを訪れた人は、40～60名ぐらいです。スタンプラリーのポイントのため、訪れる人数は多い。特に家族連れが多く、各ブースを回り楽しんでいる様にした。

災ボラの説明は、災害時のトイレと日常備蓄（ローリング・ストック）の話のどちらか一方だけということで、積極的に聞いていただけたように感じました。やはり西日本豪雨災害から、時間が経っていないためではないでしょうか。炊飯袋購入の70代女性は「こういう事をやってみたいと思っていた。」と非常に積極的で、高い防災意識をお持ちでした。

14時過ぎると人数が減り、14時30分～ほとんど無しの状態でしたが、15時～撤収作業開始、15時30分～閉会式があり代表者が参加しました。災ボラ会員の参加者は9名でした。



展示した備蓄品



災ボラ会員が説明